

## 第十三講 年代記の世界：新バビロニア王国の場合

前 625- 539 年

カルデア人の王国

<sup>6</sup>ナボ<sup>2</sup>ラ<sup>6</sup>ッ<sup>-</sup>サル — <sup>6</sup>ネ<sup>0</sup>ブ<sup>5</sup>カ<sup>-</sup>ド<sup>5</sup>ネ<sup>6</sup>ザ<sup>2</sup>ル 2 世 — <sup>5</sup>ア<sup>6</sup>メル<sup>2</sup>=<sup>-</sup>マル<sup>6</sup>ド<sup>0</sup>ウ<sup>0</sup>ク — <sup>5</sup>ネ<sup>6</sup>リ<sup>0</sup>グ<sup>-</sup>リ<sup>5</sup>ッ<sup>5</sup>サル —  
<sup>5</sup>ラ<sup>5</sup>バ<sup>6</sup>シ=<sup>5</sup>マル<sup>6</sup>ド<sup>5</sup>ウ<sup>6</sup>ク — <sup>5</sup>ナ<sup>5</sup>ボ<sup>6</sup>ニ<sup>-</sup>ド<sup>5</sup>ス

ナボラッサル

- 前 625 年 アッシリアからバビロンを奪取・バビロニア王に即位
- 前 623 年 デール・ニップールをめぐる攻防
- 前 616 年 アラップの戦い・アッシリアをイラク北部に撃退
- 前 615 年 新バビロニアのアッシリア侵攻・メディアのアッシリア進攻・新バビロニアとメディアの同盟
- 前 614 年 アッシュールを攻略
- 前 613 年 アッシリア侵攻
- 前 612 年 ニネヴェを攻略
- 前 611 年 アッシリア侵攻
- 前 610 年 ハッラン攻略・メディア軍来援
- 前 609 年 アッシリア・エジプト連合軍の反撃・ハッラン奪回失敗
- 前 608 年 新バビロニア軍の動員
- 前 605 年 カルケミシュの戦い・アッシリア・エジプト連合軍の大敗北・アッシリアの消滅

ネブカドネザル 2 世

- 前 605 年 カルケミシュの戦い アッシリア・エジプト軍を破る  
メディア王女アミュティスと結婚→空中庭園（実際はアッシリア王センナケリブ）  
西方への関心・エジプトとの対立
- 前 601 年 エジプト軍の侵入の試み・レヴァント各地（ユダ王国を含む）での反乱
- 前 597 年 イェルサレム占領
- 前 587 年 バビロン捕囚
- 前 586 年頃 ティルス攻囲（～573 年頃）・ティルスと講和
- 前 585 年 日食の戦い（5 月 28 日）・ネブカドネザルの仲介  
旧約聖書の中のネブカドネザル

ネブカドネザル 2 世は夢の中で頭が純金、胸と腕が銀、腹と腿が青銅、すねが鉄、足は一部が鉄で一部が陶土できた像の夢を見た。そこに一個の石が投げつけられ陶製の足を砕き、像は粉々になり、跡形も無くなるが、石は山のようになって全地に広がるという夢であった。ダニエルは、金の頭はネブカドネザル 2 世自身であり、銀、青銅、鉄、陶土はバビロニア王国の跡を継ぐ、より劣った王国を表し、これらはずいに永遠に続く神の王国によって滅ぼされるだろうと解いた。

次にネブカドネザル 2 世が別な不吉な夢を見た。それは天に達する一本の高い木に、豊かな実が実り、鳥が巣を作り、動物は木陰に宿っていたが、聖なる天使が下って来てその木を切り倒し、切り株だけを地中に残したというものであった。ダニエルは、木は栄光と権力を握る王自身を表し、主がすべてを支配する事を知らせるために、王は動物の境涯に落とされるであろうと解き、ネブカドネザル 2 世に間に合ううちにやり方を変えるように説いた。

次の話は、ベルシャザルが王宮で大宴会をしていたとき、一本の手が現れ宴会場の壁に「メネ、メネ、テケル、パルシン」と描いた。ダニエルは、メネは数えるという事であり、神があなたの治世を数えてそれを終わらせられたと解いた。テケルは量を計ることで、あなたは天秤にかけられ不足と見られたと解いた。パルシンは分けるという事で、あなたの王国はメディアとペルシャに与えられると解いた[1]。

アメル=マルドゥク

義弟（ネブカドネザルの娘婿）のネリグリッサルに暗殺される

ネリグリッサル

カルデア人かバビロニア人かは不明

前 557/556 年 西方での戦い

ラバシ=マルドゥク

幼年で即位・9 か月で暗殺

ナボニドス

アラム系？アッシリア人系？

母はハッランのシン神殿と関係？

神殿や神官の統制を企てる・シン神を重視しマルドゥク神を軽視→バビロニア人の反感  
バビロンの過去への関心（考古学と博物館）

前 553 年 シリア遠征

前 552 年 アラビアのテマ遠征（～前 543 年）

メソポタミア南部の諸都市から神像をバビロンに移す

辺境の防衛強化

前 555/554 年 キリキアの Hume への遠征←メディア王国

前 554/553 年 オロンテス川溪谷の Hamath への遠征←

前 553/552 年 キリキア・シリア北西部の Amurru への遠征←

Edom への遠征←エジプト

状況の激変

前 552/521 年 テマへの遠征（～前 543 年）

前 550/549 年 メディア王国の滅亡とキュロスのペルシアの台頭

前 547/546 年 キュロスのウガリトへの遠征・ティグリス川上流を渡河

滅亡

前 546 年 リュディア王国の滅亡

前 540/539 年 キュロスの攻撃

前 539/538 年 ナボニドスの帰還・神々のバビロン移動・オピスの戦い・シッパル失落・

ゴブリュアスのバビロン占領・ナボニドス捕獲・キュロス入城

王国建設と発展の軌跡

バビロン周辺での攻防：前 625 年～623 年 反復されるアッシリア軍の侵攻

反乱の拡大：前 623 年 デール

バビロニアを北上：前 623 年

アッシリア南部地域への遠征と制圧：前 616 年

アッシリア本土への侵攻：前 615 年

アッシュール占領とメディアとの同盟：前 614 年

アッシリア南部地域の反乱を鎮圧：前 613 年

ニネベの占領と破壊：前 612 年

アッシリアへの遠征：前 611 年

アッシリアとエジプト同盟

アッシリア・エジプト連合軍に圧勝とハッラン占領：前 610 年

ハッラン周辺地域の占領拡大とメディアのウラルトゥ進出：前 609 年

### 神像の移動

ナボポラッサルの年代記：19 行（前 625 年：シャマシュやシャパツズからバビロン）

21 行（前 625 年：シッパルからバビロン）

16-17 行（前 625 年：ウルクからスーサに返還）

ニネベの陥落：前 615 年 マネ、サヒリ、バリフ、ヒダヌからバビロンへ

ナボニドスの年代記：前 539 年 ボルシッパからナブ神像がバビロンへ

マラド、キシユ、フルサグカラマ、その他からバビロンへ

ボルシッパ、クタ、シッパルは例外

キュロスによる全神像の返還

神々による保護を取り去り、人質にする

逆にそれらの神々を

懲罰的意味合いを持つ

帝国支配の象徴

恩恵扶余と前世の象徴

ナボニドスにとってテマは何だったのか？

初期のバビロニア王の伝統に戻る

辺境への遠征

領土の拡大

交易路の確保（メディアを志向）

キュロスへの手当てが十分ではない